



ともしび

— TO MO SI BI — 第359号

2026(令和8)年3月号

「春の光の中で」

啓蟄の候、みなさん、いかがお過ごしですか？

さて、三月を迎えました。まだ風に冷たさは残るものの、ふとした瞬間に花のつぼみの膨らみや、日差しの明るさに春の訪れを感じる季節です。

この時期、私たちはよく「暖かくなって、ようやく花が咲いた」と口にします。しかし、仏教の視点で見つめ直すと、少し違った景色が見えてきます。花が咲くのは、ただ花が頑張ったからではありません。冬、冬の寒さを耐え抜き、春の柔らかな光を浴び、土の潤いを得るという、自分以外の数えきれない「はたらき」が整ったときに、はじめてその命を輝かせます。この「はたらき」のことを仏教では「縁」と言っています。

私たちの人生も、同じではないでしょうか。私たちは日頃、自分の力だけで生きていくように思いがちです。しかし、実際には自分の力ではどうにもならない多くの縁に支えられています。家族や友人との繋がり、自然の恵み、そして目には見えない大きな「いのちのはたらき」の中に生かされているのです。

三月には「お彼岸」があります。お彼岸とは、煩惱(迷い)に満ちたこちらの岸(此岸「しがん」)から、悟りの世界である「彼岸(阿弥陀さまの浄土)」を仰ぐ一週間です。浄土真宗においてお彼岸は、「私が阿弥陀さまの浄土へ行くために努力する期間」ではなく、「すでに阿弥陀さまの光の中に包まれていたのだ」と、その慈悲に気づかせていただく大切な時間です。

阿弥陀さまという仏さまは、春の太陽のように、いつでも、どこでも、私たちを等しく照らしてください。私がどんなに迷い、悩み、自分を見失っている時であっても、「決してあなたを見捨てない」と、その温かな光で包み込んでくださっています。

「南無阿弥陀仏」とお念仏を口にするとき、私たちはその大きな温もりの中にいることを確かめることができます。春の光に促されて花が開くように、私たちもお念仏を通して、凝り固まった心が少しずつ解きほぐされていく。そんな心豊かな春を、皆さまと共に歩ませていただきたいと思います。

どうぞ、お彼岸の行事や法事など、お気軽にお寺へ足をお運びください。

2月の行事報告

常例法座・お経の読み方を学ぼう

2月8日(日) 午後1時～

法話:安藤秀明 師(新潟県 福勝寺)

お経の会:伊藤主管

2月の法話講師は、当初予定していた稲葉先生が諸般の事情でお越しいただけなくなり、急遽 安藤先生にお越しいただきました。2月は涅槃会(お釈迦様の入滅を偲ぶ法要)の月なので、涅槃図をご持参されての法話でした。普段なかなか間近で見ることができない涅槃図に、参拝の皆さんも興味深々でした。

お経の会では、お経を読む理由や法事でも唱える機会の多い正信偈の構成、唱え方などをお伝えし、実際に皆さんに唱えていただきました。



涅槃図を用いて法話される安藤先生。前にお座りの方は、松戸から自転車で
お越しになったそうです!



お勤め練習会のようす



2月が誕生日の方と



今回はジャンケンなしでお供物をお渡し

その他のおしらせ

東久留米分院からのお知らせ

公開講座「終活セミナー」開催について(予定)

春のお彼岸法要に併せて公開講座「終活セミナー」を開催予定です。

今回のテーマは「家族葬を成功させるポイント」

大切な方のお見送りを残念なものにしないために知っておきたいこととお話します。ぜひ、ご家族もお誘いのうえお越しください。

日時 3月20日(春分の日) 14:30頃から1時間程度
場所 東久留米分院 本堂

なお、お彼岸の法要に引き続いての開催なので、時間は目安です。

<こんな方は一度ご参加ください>

- 葬儀について漠然とした不安を感じている方
- 葬儀について詳しく知りたい方
- 家族に迷惑をかけたくないと思っている方
- 自分らしい最期を迎えたい方

奉讃会からのお知らせ

3月の「東久留米会館奉讃会 清掃奉仕活動」は都合によりお休みします。

毎月第1日曜日に行っている東久留米会館奉讃会の清掃奉仕活動ですが、まだまだ寒い日が続いており、活動に支障をきたす恐れがあるため、3月の活動は、お休みとさせていただきます。4月の奉仕活動の有無は次回の寺報でお知らせいたします。

[奉讃会 会長:熊谷 武]

東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

▶ 3月の行事予定 ※3月は境内清掃ありません

・春のお彼岸法要

・終活セミナー

3月20日(金・祝) 午後1時～

法 話: 宮本廣宣 師(神奈川県 高願寺)

過去帳をご持参くだされば、仏さまの前に謹んでお供えます。どなたでも参加いただけます、ぜひお参りください。

法要に引き続き「終活セミナー」を開催します。

御命日晨朝 総参拝

3月16日(月) 午前7時～

月に1度の親鸞聖人御命日に、私たちと一緒に
お寺で朝のお参りしませんか?

参拝された方には、お供物をお渡しいたします。

▶ 4月の行事予定

灌仏会(はなまつり)

4月12日(日) 午後1時～

法 話: 講師調整中

灌仏会(かんぶつえ)とは、お釈迦様の誕生を祝う法要です。お釈迦さまは、ネパールの「ルンビニ」という場所にある花園で誕生したとされていることから別名「はなまつり」とも言います。

先月のご進納

【お仏飯米】

近藤 敏之様 山下 肇様

(順不同)

誠にありがとうございました。

編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただきありがとうございます。

今年も「あの季節」がやってきました。はい、毎度おなじみの花粉のシーズン到来です。花粉による目のかゆみ、止まらない鼻水、声枯れ等に悩まされる日々が今年も始まりました。ただ、この症状が始まると春の到来を感じるのもまた事実です。…。なんとも複雑な気分です。

(伊藤)

東久留米会館会報「ともしび」

通 刊 359号

発行日 2026年3月1日

発行者 伊藤 法友

住 所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電 話 042-474-6787